

マルシェ大原野
お買い物券 Ono
¥100

2023年5月末まで有効
ナチュラルライフ
切りはなし無効
切りはなし無効
マルシェ大原野
出店者さん便り
おださんの
パウンドケーキ
たけのこのパウンドケーキ
を4月から5月上旬まで販
売しています。
たけのこの甘みと、すっと歯が入るお菓子
の固さ。味わう5分間の「美味しかった」
が聞きたくて、8年研究しました。

大原野の野菜・加工品の販売『マルシェ大原野』は、地域住民が中心となって運営されています。



4月15日(土)・18日(火)は
たけのこ特売デー

春の大原野は竹の子のシーズン!
柔らかく、えぐみが少ないのが特徴です。
掘れたての新鮮なたけのこが手に入るのも
マルシェ大原野だからこそ。炊き込みご飯や
マフィンにも!旬の野菜とお待ちしています!



おのばなし



WBC サムライ JAPAN の試合をみて、チームワークやお互いを思いやる気持ちを感じました。

機械化される前の日本は、農作業を通じて互いに協力し、助け合う気持ちが育まれたのではないか?と私は思います。
春が訪れて、今年も田植えから始まり秋の収穫まで、おのファームにて田植えや稲刈りを通じて、気持ちを垣間見る機会にしていただければ幸いです。
米づくりに参加いただいたお子様が、おのファーム米づくりを絵にしてくれました。

|活動報告|

ひなことがありました

3月

竹やぶ整備 のんびり舎



3月12日(日)

薪サウナの使い方・五右衛門風呂体験 のんびり舎



3月19日(日)

土地探し・建替・リフォーム・空き家活用などお気軽にご相談下さい

株式会社小野建築設計

TEL. 075-335-2254

〒610-1123 京都市西京区大原野上里南ノ町10番地

定休日:水曜日・祝日「のんびりぐらしの家」



フォローしてください! 小野建築設計



ナチュラルライフ vol.208 2023年4月1日発行 発行 / 株式会社小野建築設計

建設業許可: 京都府知事(特-2)第33008号 宅地建物取引業者票: 京都府知事(4)第12179号 建築士事務所登録番号: 二級建築士事務所 京都府知事登録 (29B) 第01678号



NATURAL LIFE

四季の歩みに合わせながら大枝・大原野でのんびり暮らし。

この土地で共に生きる人々とのかかわりを伝える。

私たちは地域情報誌を「ナチュラルライフ」と名付けました。

2023年 4月号

京都の洛外では、藍の栽培から染めまでが盛んに行われていた歴史があります。室町時代の技法を再現し、廃れてしまった京藍の復活に取り組んでいるアーティストがいます。今回は京藍染師の松崎陸さんをご紹介します。

藍の世界に魅了されて

ニューヨーク遊學中にジャパンブルーと呼ばれる藍染に出会い、帰国後に視た藍染のドキュメンタリーでその奥深さに惹かれます。伏見で江戸時代から続く染屋 染司よしおかの門を叩き、染めの世界に入り今年で10年目。修行時代は給料の多くを藍染の材料費に充てて藍染を独習し、大量の文献を読んで知識を深めてきました。その過程で、京都では古くから高品質な藍が作られていたが大正時代に栽培が廃れたことを知り、「京の藍を復活させたい。」その思いのもと、生まれ育った大原野に工房を構えられました。



自然の力を生かした藍染

「土からはじまり土に還る循環型のモノづくり」がコンセプト。上里の900坪の藍畠では、飲食店から出た棄てられるはずの鰹節や昆布を肥料として再利用。無農薬での栽培を行っています。室町時代の染色技法を取り入れている松崎さんの藍染は、収穫後の乾燥葉を発酵させた【すくも】に、木灰と水を混ぜ、自然に委ねて更に発酵させていきます。染色液から引き上げた布は、京浅葱と呼ばれる上品な淡い藍色に。色の定着がよく、色飛びも色落ちもしにくいとのこと。出る色は発酵の具合によって毎回異なり、均一化されることのない唯一無二のものが出来上がります。「自然を相手に答えはない、そこが染めの面白さです。」



京藍の染色体験ができます

【天然の藍色を一緒につくりませんか】

参加費: 15,000円+ギフト

2023年4月から約1年間のプロジェクト
畠から京藍を栽培、染料づくり、染色体験など



【染色ワークショップ】

参加費: 3,300円より

染めたいものを持ち込みもできます。

*詳細やお申込みは工房インスタグラムまたはホームページをご覧ください。

工房情報

京藍染色工房

西京区大原野南春日町544-26

080-1463-1186

